

新規就農先輩の軌跡 No.52

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：多田健一 住所：南あわじ市八木 年齢：42歳</p>	<p>農地：100a（借地 100a） 経営内容：レタスを中心とした三毛作 露地野菜経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レタス 100a ・キャベツ 15a ・タマネギ 15a ・水稻 15a <p>労働力：本人、臨時雇用 0.2人 出荷先：あわじ島農業協同組合出荷</p>  <p>エコファーマーとしてレタス栽培</p>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>平成 16 年～22 年 7 月 有機農法生産法人で雇用就農 独立就農を目指し退職</p> <p>平成 23 年 4 月 6ヶ月間就農地で離陸 加速モデル農業研修</p> <p>平成 23 年 9 月 就農認定</p> <p>平成 23 年 10 月 研修終了後独立就農</p> <p>平成 24 年 10 月 エコファーマー取得</p> <p>平成 25 年 9 月 規模拡大（借地 30a）</p>	<p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売力のある地域で独立自営就農ができ、良き親方農家に恵まれて、スムーズに就農できた。 ・周りの農家から農機具等の支援が得られた。 <p>○苦労した、している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人での農作業は作業効率が悪いこと
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>○30歳を過ぎ、自然、体を動かすこと、食べることが好きだった</p> <p>○おいしい野菜を作って、消費者に提供したい</p>	<p>○どんなスタイルの農業でもいいので継続していく</p> <p>○安定した販路の確保を第一に、個人販売の場合、クレーム処理が大変</p> <p>○こだわり農業の取り組みは、経営に余力ができてから</p> <p>○集落に溶け込む努力が大切</p>